

授業概要

公務員学科

科目名	資料解釈 I	
担当教員	桜井 久史	
実務経験	民間のソフト開発会社で、証券会社のオンラインシステム開発と物流輸送のオンラインシステム開発に従事し、データ処理やデータ分析で、グラフや表の作成及び、プレゼンテーションソフトの活用を経験。	
対象学生	公務員専攻科1年	
曜日・時間	66コマ、59.4時間	
授業形態	講義またはiPadを使用したグループ学習	
科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「構成費」「増減率」「指数」の考え方を深め、正確な資料分析力を身に付ける。 ・公務員試験において、計算量を少なくした効率の良い資料分析力を身に付ける。 	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・データの収集と分析の仕組みを理解し、資料解釈の基礎が身についている。 ・資料から割合や比較ができるようになり、予測や傾向を読み取れる。 ・資料から増加率や減衰率を求められ、対策を考えられる。 ・特殊なグラフを読み取ることができる。 	
授業方法・授業上注意	<ul style="list-style-type: none"> ・講義形式により基本的な知識を習得する。 ・iPadを使用したグループ学習、問題演習により知識を深める。 ・c-learningを利用した予習・復習を十分に行うこと。 	
成績評価の方法と基準	<p><前期> 期末考査50%、中間テスト40%、授業態度等10%</p> <p><後期> 期末考査50%、確認テスト40%、授業態度等10%</p>	
使用テキスト	<p>TAC公務員試験テキスト判断推理・資料解釈 テキスト (ISBN978-4-8132-7072-0 2,300円+税)</p> <p>TAC公務員試験テキスト判断推理・資料解釈 問題集 (ISBN978-4-8132-7078-2 1,500円+税)</p>	
教材・参考文献・図書等	公務員試験過去問題	
授業計画(内容)		コマ数
<前期>		
・資料解釈の基礎 (データの収集と分析の仕組みについて)		12
・構成比 (資料における割合と比較・資料の読み取り方・大小の比較)		8
(中間テスト)		
・増減率 (国や市の人口や消費者・価格等の増加率と減少率の計算)		8
・指数 (物価指数・価格や人口推移及び、それらの比較方法)		10
・特殊なグラフ (グラフの成り立ちと読み取り方)		2
(期末考査)		2
<後期>		
・過去問題演習		22
(期末考査)		2
	合計	66
	授業時数	59.4